

2019年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52204	子どもの保健 Child health	中島 志保	専門	2	選択	1年後期
科目の概要						
<p>本科目は、子どもの心身の健康の保持・増進を図ることを目的とし、健康と安全の面から保育の専門家として必要な保健的対応に関する基本的知識を身に付ける。子どもの身体的な発育・発達と保健を理解し、心身の健康状態とその把握について学ぶ。また子どもに見られる主な疾病(感染症・アレルギー疾患・その他の病気)の特徴を理解し、保育所における予防と対応、他職種間との連携について学ぶ。小児保健統計や子どもを取り巻く環境と地域における保健活動を知り、保育者として家庭・地域・専門機関との連携について理解する。そして保育者として自らの健康管理の必要性に気付き、行動する意識がもてるようにする。</p>						
学修内容			到達目標			
①	子どもの定義と子どもの健康の考え方を理解する。小児保健統計や子どもを取り巻く環境と地域における母子保健活動を知り、子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義と、家庭・地域・専門機関との連携について理解する。	①	「子どもの定義」と「子どもの健康の考え方」について述べるができる。地域における母子保健サービスを挙げ、家庭・地域・専門機関との連携について述べるができる。			
②	乳幼児期における身体発育と生理・運動機能の発達、その評価を理解する。	②	発育・発達の原則、月年齢における発育・発達とその評価について述べるができる。			
③	子どもの健康状態の観察とその把握、心身の不調などの早期発見と対応、保護者との情報共有の内容について理解する。	③	子どもの健康状態の観察項目、心身の不調などの早期発見とその対応について述べるができる。保護者との情報共有の必要性について述べるができる。			
④	子どもに見られる疾病(感染症・アレルギー疾患・その他の病気)の特徴、保育所における予防と対応、他職種間との連携について理解する。	④	子どもに見られる疾病(感染症・アレルギー疾患・その他の病気)の特徴、保育所における予防と適切な対応、他職種間との連携の必要性について述べるができる。保育者自身の感染症予防の必要性とその行動について述べるができる。			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的な行動事例				
前に踏み出す力	主体性	ア. 毎週予習を行い、授業内容を把握し授業に臨むことができる。 イ. 授業以外の時間を使い、課題に必要な知識について、テキストや文献を使って自己学修することができる。				
	働きかけ力					
	実行力	ア. 課題は必ず実践し、提出日を守る。 イ. 自ら健康について意識し、行動に移せる。				
考え抜く力	課題発見力	ア. 苦手な部分を明らかにし、自分の課題を見つけ学修に取り組むことができる。 イ. 自分自身の健康に関心を持ち、日常生活上の問題点や課題を見つけ改善策を考えることができる。				
	計画力					
	創造力	物事を考える時に、固定概念に捉われないこと、様々な方向から考えることができる。				
チームで働く力	発信力	整理した内容を的確な文章で表現できる。				
	傾聴力	意見を聴く時は、うなずきやあいづちをし、途中で遮ることなく最後まで聴く。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	ア. 授業開始時には着席し授業を受ける準備を整えることができる。 イ. 無断欠席、遅刻、居眠り、私語、飲食、途中退室など講義や他の学生に支障をきたす行動をせず、授業が円滑に進行するようルールを守ることができる。(体調不良時は申し出ること) ウ. 授業終了時は、机上の消しゴムなどのゴミを片付け、整理整頓してから終えることができる。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト:「これだけはおさえない! 保育者のための子どもの保健 I [第4版]」 鈴木美枝子[編著] 創成社 ¥2,200+税 参考文献:「保育所保育指針」「保育所における感染症対策ガイドライン」「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連:子どもの健康と安全、子どもの食と栄養、保育内容(健康)、保育の心理学 資格との関連:保育士</p>						
学修上の助言			受講生とのルール			
<p>・乳幼児期の発育・発達や予防接種について、自身の母子健康手帳を見たり、家族で子どもの頃の話をする事で、理解を深めるとよい。 ・学習範囲が広く専門用語も多いため、テキスト・資料にて毎週予習・復習をしてください。 ・日頃から母子保健について関心を持ち、新聞やニュースなどから情報収集を心掛けるとよい。</p>			<p>・座席は指定です。 ・授業開始時には着席し、授業に臨んでください。 ・携帯電話は電源を切り、カバンにしまっておくこと。 ・課題は授業開始前に必ず提出し、着席してください。 ・授業で配布する資料は予備がないため、紛失などした場合は他の学生からコピーさせてもらってください。欠席した場合、次の授業時に各自で取りこくこと。</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験	60	①	✓	到達目標①②③④に対応した、基礎的な知識を問う問題を出題し評価する。 1. 課題レポート 2. シラバスの復習に記されている内容
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
小テスト		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
レポート	30	①	✓	各週、課題はワークシート(授業の復習用の学習問題)・レポートを授業にて配布する。 ・保育者としての基本的知識について理解できている。 ・「地域における母子保健サービス」を具体的に挙げまとめている。 ・「母子保健に関する記事」を取り上げ、自分の考えをまとめている。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
成果発表 (口頭・実技)		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
作品		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
社会人基礎力 (学修態度)	10	①	✓	(規律性) 受講態度に遅刻、欠席、学修意欲欠如、他の学生の受講に支障をきたす行為が見られる場合は、1点×授業回数減点する。 (実行力) 課題未提出は、1課題1点減点する。 (主体性) 課題について、テキストや文献を使用し記述できている。 (課題発見力) 自分の苦手な部分を明確にし、学修や課題に取り組むことができる。 (創造力) (発信力)固定概念に捉われないこと、様々な方向から考えまとめている。 (傾聴力) うなずきやあいづちなど話を聴く姿勢ができている。 (実行力) (課題発見力) 自分自身の健康に関心を持ち、日常生活上の問題点や課題を考え自己管理に取り組むことができる。
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤		
その他		①		
		②		
		③		
		④		
		⑤		
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
<p>・地域における母子保健対策を理解し、母子保健サービスとその内容を説明できる(①) 地域との連携について具体的に述べる(②)ことができる(②)</p> <p>・乳幼児の発育・発達の評価ができる(①) 保護者への支援を具体的に挙げる(②)ことができる(②)</p> <p>・子どもの健康観察のポイントを説明でき、心身の不調の特徴と対応を説明できる。保護者との情報共有の内容を挙げる(②)ことができる。(①) 日々の健康観察と保護者との情報共有を関連付けて説明できる(②)</p> <p>・感染症発生の三大要因とその対策について、具体的に説明できる。感染症の特徴・登園停止期間・予防接種と感染症を関連させて説明できる(①) 保育所における感染症の予防と対応について具体的に説明できる(②)</p> <p>・子どもの健康の保持・増進のための保健活動の意義と内容について説明できる(①) 家庭・専門機関・地域との連携について具体的に説明できる(②)</p> <p>S(秀)①+②、A(優)①</p>	<p>・地域における母子保健対策について、母子保健サービスを挙げる(①) 地域との連携の必要性を挙げる(②)ことができる(②)</p> <p>・発育・発達の原則を説明できる(①) 原則と発達の経過を結び付ける(②)ことができる。発育・発達の評価を挙げる(②)ことができる(②)</p> <p>・子どもの健康観察の項目を挙げる(①) 子どもの見られる心身の不調とその対応を挙げる(②)ことができる(②)</p> <p>・感染症発生の三大要因と定期予防接種を挙げる(①) 子どものかかりやすい感染症を挙げる(①) 感染症と予防接種を関連させて挙げる(②)ことができる。感染症の登園停止期間が説明できる(②)</p> <p>・子どもの健康の保持・増進のため保健活動を挙げる(①) 保健活動と家庭との連携について説明できる(②)</p> <p>B(良)①+②、C(可)①</p>

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	子どもの健康と保健の意義 ・子どもの定義(年齢による区分)を理解する。 ・保育における子どもの保健と子どもの健康を理解する。 ・小児保健統計から子どもの健康水準と子どもを取り巻く環境を知る。	講義	・「子どもの定義」を述べるができる。 ・「保育における子どもの健康」を述べるができる。	(予習)テキストを読み、授業内容を把握する。P1～10 (復習)①テキスト・資料を見直す。②「子どもの定義」についてまとめる。③日常生活を振り返り、健康に向けての行動目標を挙げる。④「母子保健」に関連するニュースを取り上げ、考えをまとめる。②③は次回提出、④は10週までに提出。	180	主体性 課題発 見力 規律性
2週 /	子どもの発育・発達① ・身体各部の名称、体の器官の位置・名称・働きを理解する。 ・在胎週数による子どもの区分、出生体重による子どもの区分を知る。 ・発育・発達・成長の意味を理解する。スクラムの発育曲線から発育の特徴を学ぶ。	講義 ・授業開始時に「子どもの定義」「保育における子どもの健康」を振り返る(フィードバック)	・身体各部の名称と体の器官の位置を述べるができる。 ・発育・発達・成長の意味を説明できる。	(予習)P11～15、理科・生物で学習した体の各器官の名称と働きを振り返る。 (復習)ワークシートにて①体のつくり、②発育・発達・成長の意味を振り返り覚える。次回提出。	180	主体性 課題発 見力
3週 /	子どもの発育・発達② ・生理機能の発達(体温・血液循環・呼吸・消化吸収・排泄)について理解する。	講義	・乳幼児期の体温、呼吸、脈拍の特徴を述べるができる。 ・乳幼児期の消化吸収、排泄、睡眠の特徴を述べるができる。	(予習)P38～41 (復習)ワークシートにて体温・血液循環・呼吸・消化吸収・排泄の特徴について振り返る。次回提出。	180	主体性
4週 /	子どもの発育・発達③ ・生理機能の発達(脳神経・睡眠・免疫)、感覚器の発達について理解する。	講義 ・2週のワークシート返却時に振り返り(フィードバック)	・乳幼児期における排泄・睡眠の変化、免疫グロブリン、視覚の発達について述べるができる。	(予習)P41～47 (復習)ワークシートにて脳神経・睡眠・免疫の特徴と感覚器の発達について振り返る。次回提出。	180	主体性
5週 /	子どもの発育・発達④ ・身体発育(身長、体重、胸囲、頭囲)について学ぶ。身体発育の評価(乳幼児身体発育曲線・肥満度・カウプ指数)を理解する。 ・歯と骨の発育について理解する。	講義 ・3週のワークシート返却時に振り返り(フィードバック)	・月年齢に応じた身長・体重の発育が説明できる。 ・カウプ指数の計算式が言える。 ・歯の萌出時期が言える。	(予習)P15～27 (復習)ワークシートにて身体発育と評価、歯の発育について振り返る。次回提出。	180	課題発 見力 創造力
6週 /	子どもの発育・発達⑤ ・運動機能の発達の原則を理解し、乳幼児期の月年齢に応じた運動機能の発達経過を学ぶ。 ・発達の評価の意義と内容について理解する。	講義、DVD視聴 ・4週のワークシート返却時に振り返り(フィードバック)	・運動機能の発達の原則について説明できる。 ・発達の原則に基づき、乳児期の発達順序について説明できる。	(予習)P27～33 (復習)ワークシートにて運動機能の発達の原則と発達経過、発達評価について振り返る。次回提出。	180	主体性 創造力
7週 /	子どもの心身の健康状態とその把握① ・子どもの健康状態の観察項目を理解する。 ・心身の不調における対応について理解する。	講義、DVD視聴 ・5週のワークシート返却時に振り返り(フィードバック)	・健康観察の項目が挙げることができる。 ・子どもによく見られる心身の不調を挙げることができる。 ・薬を預かる時の注意点を挙げることができる。	(予習)71～79 (復習)ワークシートにて子どもの健康状態の観察項目と心身の不調における対応のポイントについて振り返る。次回提出。	180	創造力 傾聴力
8週 /	子どもの心身の健康状態とその把握② ・健康診断、日々の健康観察と保護者との情報共有について理解する。	講義 ・6週のワークシート返却時に振り返り(フィードバック)	・保育所における健康診断を挙げることができる。 ・家庭との連携がわかる。	(予習)P135～138 (復習)健康診断、保護者との情報共有についてまとめ振り返る。	180	主体性

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	子どもの病気と保育① ・感染症発生の三大要因とその対策を理解する。 ・予防接種と出席停止期間について理解する。	講義 ・7週のワークシート返却時に振り返り(フィードバック)	・感染症発生の三大要因とその対策を挙げることができる。 ・定期予防接種を挙げることができる。	(予習)P118～134 (復習)ワークシートにて予防接種と出席停止期間について振り返る。感染症発生の三大要因とその対策をまとめる。次回提出。	180	主体性 課題 発 見力
10週 /	子どもの病気と保育② ・子どもがかかりやすい感染症(麻疹、風疹、水痘、流行性耳下腺炎、伝染性紅斑、手足口病、咽頭結膜熱、ヘルパンギーナ、とびひ、水いぼ、アタマジラミなど)の特徴と保育所における対応を理解する。	講義、DVD 視聴	・子どもがかかりやすい感染症を挙げることができる。 ・予防接種のある感染症を挙げることができる。	(予習)P80～88、96～99、114 (復習)ワークシートにて感染症の特徴と保育所における予防と対応について振り返る。次回提出。	180	主体性 実行力
11週 /	子どもの病気と保育③ ・アレルギー疾患(アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、気管支喘息)とその対応について理解する。 ・アナフィラキシーとアナフィラキシーショック、保育所における対応について理解する。	講義、演習(エピペンの取り扱いについて) ・9週のワークシート返却時に振り返り(フィードバック)	・アレルギー疾患とその症状を述べることができる。 ・エピペンの接種部位が言える。	(予習)P102～113 (復習)ワークシートにてアレルギー疾患の特徴と保育所における予防と対応について振り返る。次回提出。保育所におけるアレルギー対応ガイドラインを読む。	180	実行力 課題 発 見力 創造力
12週 /	子どもの病気と保育④ ・子どもの病気(呼吸器、消化器、腎泌尿器、内分泌など)の特徴と保育所における対応について学ぶ。	講義、DVD 視聴 ・10週のワークシート返却時に振り返り(フィードバック)	・病気の特徴を挙げることができる。 ・保育所における予防法を挙げることができる。	(予習)P89～95 (復習)ワークシートにて病気の特徴と保育所における対応について振り返る。次回提出。	180	主体性
13週 /	子どもの病気と保育⑤ ・子どもの病気(先天異常、循環器、脳・神経、その他)の特徴と保育所における対応について学ぶ。 ・病気を持つ子どもと保護者の心身の状態と保育者の役割を理解する。	講義、DVD 視聴 ・11週のワークシート返却時に振り返り(フィードバック)	・病気の特徴を挙げることができる。 ・保育所における対応を挙げることができる。 ・病気を持つ子どもと保護者の心身の状態を述べるることができる。	(予習)P100～102、114～118 (復習)ワークシートにて病気の特徴と保育所における対応について振り返る。次回提出。	180	主体性 創造力
14週 /	子どもの健康と地域における保健活動 ・子どもの健康に関する国の施策と母子保健対策について理解する。 ・地域における保健活動を理解する。	講義 ・12週のワークシート返却時に振り返り(フィードバック)	・母子保健法に規定されている内容を挙げることができる。 ・地域における保健活動を挙げることができる。	(予習)①テキスト P180～185 ②自分の住む地域の母子保健サービスを調べる。 (復習)地域における保健活動と内容についてまとめ振り返る。	180	発信力 傾聴力
15週 /	児童虐待と虐待防止 ・児童虐待の分類を知る。 ・児童虐待の現状を知り、保育所における役割と地域との連携を理解する。	講義 ・13週のワークシート返却時に振り返り(フィードバック) ・地域における母子保健活動を振り返る	・児童虐待の分類と特殊なタイプの虐待、現状が説明できる。	(予習)P55～57 (復習)ワークシートにて児童虐待の分類、現状、虐待防止対策について学習する。	180	課題 発 見力 実行力

能力名:主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力